

ジュニア賞

発想力鍛錬ゲーム「コモナリティー」

巻瀧 優也 (高校3年生:長野県)

「コモナリティー」とは日本語で「共通点」を意味します。第三次産業が経済の主軸を占め、「アイデア」の質が企業の根幹となってきた昨今。世の中に新しい価値を生み出す商品・企画を立ち上げるには「柔軟な発想力」、「全く別のものAとBを繋ぎ合わせる分析力」が必要だと感じました。そこで、私はこの2つの力を同時に養うことのできるゲームを発明しました。それが、発想力鍛錬ゲーム「コモナリティー」です。まず、このゲームは2つの役が存在します。なるべく共通点のない単語を並べていく「アイデアマン」役と、アイデアマンが並べた単語に共通点を見出す「コネクター」の役です。アイデアマンは、コネクターに共通点を見出されないように、ランダムな単語を並べていきます。「栗」「海」「牛丼」…。こうして自由に発想を展開させることで、アイデアマンは柔軟な発想力を養います。コネクターは、そこになるべく周囲が納得できる共通点を見出し、提示します。その説明が論理的だと判断された場合、アイデアマンが「コモナリティー」と宣言し、コネクターは得点を獲得します。(この具体的な流れは添付画像参照) 10題ほどで役を交換する流れで友人とテストプレイをした所、コモナリティーは100題中38回答でした。やや厳しめの判定でしたが、3回に1回得点が獲得できれば“ノルマ”くらいの気持ちでやると良いかもしれません。相手に納得をしてもらえるプレゼン力も必要です。仮に回答が出なくても、1つの事物を分析し、全く異なる事物との共通点を考える作業は頭の体操としても優れており、また、得点を競い合うゲームとしても楽しむことが出来ました。紙等に単語を書いておくとやりやすいです。「これとこれを組み合わせれば!」アイデア商品を生み出すキッカケにも、「なるほど!そんな視点が!コモナリティー!」企業のレクリエーション・コミュニケーションにも。ゲームの活用法は無限大です。